



ホームページが新しくなりました。QRコードを読み取り御覧ください。スマイル附属情報を様々に発信中です！

令和4年度 附属小学校だより

スマイル²ふぞく



第2号 令和4年6月2日（木） 校長 古野 祐一

限界突破の運動会・表現発表会！

5月21日（土）の運動会、6月1日（水）の表現発表会は、両日とも天気に恵まれ、運動会テーマ「限界突破、頂点への道、走りだせ」にふさわしい子供たちの躍動ぶりでした。仲間と共に世界一の運動会を創りたいという子供たちの熱意が演技に表れていた二日間でした。これも保護者の皆様の世界一の応援のおかげだと感謝しております。

運動会で高まった各学年の一致団結力が、日々発揮されています。3年生はマナー良く路面電車に乗り、集団移動もスムーズに社会科見学を終えました。5年生は、中庭の池をピカピカに磨いて美しい環境にしてくれました。6年生はプール掃除に全力投球で、下級生が楽しみにしている水泳の準備も完了。一段と高まった北斗の子の学びが始まっています。



1年生の可愛らしい花笠音頭。



初めての創作表現に挑戦した2年生。

嬉しい便りが届きました！

先日、本校を卒業した現在高校3年生の生徒から手紙が届きました。母の日に際し、日頃の感謝の気持ちを、身内の人だけでなく伝えてみようという取組の中で、附属小に送りたいと思いをしたためてくれました。

附属小学校の先生方へ

私の通う学校で大切な人に感謝を伝えようと言われ、ぱっと浮かんだのは附小でした。10年くらい前に入学をしたので先生も入れ替わり、私を知っている先生は少ないと思いますが、あいかわらずどの先生も附小を訪ねたら受け入れてくださり安心感があります。私のことをしっかり見てくれる先生ばかりで、生徒と向き合って協力してくださっていたのだと今なら分かります。どんな子であろうと、知ろう、分かれようとしてくださっている先生方にいつも助けられていました。あまり関わりがなくても仲良くなりたいと近づいたら倍で返してくれて、そんな先生方が大好きです。 （一部省略）

一生の友と出会うスマイル附属でありたいと願っていますが、一生の先生と出会い語り合う学校でもあらねばと、心新たにさせてもらいました。本当に有難いお便りに感謝！



プールをピカピカに磨いた6年生。



中庭の池掃除に取り組んだ5年生。

※裏面に続きます！

笑顔の支え

6月6日から水泳学習が始まります。今年度も学年を二つに分けての実施になりますが、8時間の学びの中で、水への恐怖心を取り除きながら、水中で身体の安全を保持できる能力を養っていきます。

さて、この水泳学習に向けて、特に安全に関する配慮が必要です。他の運動以上に、子どもの発達段階を踏まえた指導を心掛けるとともに、安全に向けた取組も行っています。

一つは、「プールの水質管理」です。学校薬剤師の指導の下、塩素濃度などの水質を一定に保つ必要があります。天気や水温によって、薬の量を調節しながら水質を保っています。気を抜くとすぐに藻が生えてしまいます。

安全な水泳学習に向けて

また、低学年の学習の前には、水位を下げます。1時間に20cmずつゆっくりと水位を落とすために、排水バルブの微妙な調節を行います。目を離すと、プールの水が空っぽになってしまいます。

もう一つは、「プール開き式」です。毎年、水泳学習の前週の金曜日の朝、校長と職員室の3名、そして体育部が参加します。プールの四つ角に御神酒をして、無事に水泳学習ができるように安全を祈願します。

このような、安全な水泳学習に向けての取組を、体育部の宇野教諭、竹下教諭を中心に行っています。今年も、北斗のプールに笑顔と楽しい声が溢れます。

教頭 橋田 晶拓

北斗の学び

道徳性を養う学びを創るために

平成29年度に長崎県教育センターが発表した「長崎県児童生徒の社会性・規範意識に関する調査」によると、本県の子どもの規範意識は、高い水準にある一方、「善悪の判断を求められた時に、自分のこととして考えて勇気をもって行動したり、相談したりすることができるようにする必要がある。」と指摘しています。つまり、道徳的に判断する力を養うことが重要だと言えるでしょう。このことは、「スマイル附属」の実現を目指す北斗の子一人一人にとって大切なことです。

そこで、本校の道徳科の学習では、「本音で語り合うこと」を大切にしています。教材文や日常にありそうな場面で、判断が分かれそうな問いをしたり、考えた理由を話し合ったりします。そうすることで、「確かにその気持ちも分かるけれど・・・」、「私だったらどうするかな?」と、子ども一人一人が自分を見つめ直し、よりよい生き方を考えることができるようにしています。

6月13日(月)から始まる北斗の子の心を見つめる週間では、友達や担任と共に悩み、考え、話し合っているお子様の姿をどうぞご覧ください。

主幹教諭 吉田 公悦

潜入！附属小リアルスコープ

草刈り

例年、5月の運動会の時期に向けて、敷地内の草刈りを行っています。今年も、運動場の奥側や中庭などを中心に、背丈まで伸びた植物を刈りました。附属小学校は、エンジン搭載の草刈り機に加え、モーターで動く軽量タイプの草刈り機も備えています。これらを使って一気に根元からズバズバと刈るべく、回転刃を回しました。しかし、長く伸びた植物はすぐさま刃に絡みついてストップしてしまいます。

この状況を繰り返す中で、つい考えてしまうこと。それは「子どもたちも同じだなあ。」ということです。

子どもたちを一気に変えようとしても、うまくはいきません。大切なことはやはり、子どもたちをよく見つめ、様子に応じて少しずつ手を打っていくことです。そうすることで、緩やかに、しかし確実に変化を遂げていく子どもたちと、成長を喜び合うことができます。

伸びきった植物も、上の方から少しずつ、いくつかに分けて刈ることで、きれいに整っていきました。

教務主任 才木 崇史